

## 第57回定期総会開催

令和7年4月10日、ときわ会館にて、民具を守る会第57回定期総会を10名出席で開催しました。会長挨拶で中国電力のエネルギー伝統文化賞の受賞通知を受け4月21日の授賞式に出席の旨の報告がありました。記事では、令和6年度の事業報告、会計報告、令和7年度事業計画、予算案などが原案通り承認されました。昨年、発足当初から会員の上山信人氏が逝去されたため、15名の会員で7年度を運営していきます。

役員改選では加納昭則副会長(事務局長兼務)の辞任により空席となり、事務局長に隅田哲夫氏が選任されました。その他は役員留任となりました。

今年の金城資料館の企画展は6月1日(日)から12月28日(日)まで、「波佐まるごとミュージアム展」—学べる博物館の取り組み—の開催が承認されました。金城民俗資料館開館指定管理の運営について協議を行い、研修旅行などについても協議しました。



## エネルギー伝統文化賞受賞

エネルギー文化・スポーツ財団は、4月21日、2025年度のエネルギー賞の表彰式を広島市中区のホテルで開き、美術賞は備前市の陶芸家石田和也氏、音楽賞は、米子市出身フルート奏者酒田結氏、伝統文化賞は、西中国山地民具を守る会(隅田正三会長)、スポーツ賞は、柳井市のバドミントン指導者竹光唯至氏。財団の荻田知英理事長から盾と目録を受け取った。

民具を守る会は、昭和43年11月に設立以来57年間に亘って、民俗資料の調査・研究・収集・保管・活用に尽力。文化財を活かした町づくり、「実践民俗学」の推進、「民俗資料回想セラピー」など先駆的な活動が認められ受賞に至ったものです。

